

水産業強化支援事業事後評価報告書

		千葉県	
政策目的		令和元年台風 15 号により被災した施設の復旧	
政策目標		経営構造改善目標	31-12
事業実施主体		全銚子市水産加工業協同組合	
実施地区名		銚子市	
実施期間及び目標年度		実施期間	目標年度
		令和 2 年度	令和 4 年度
交付金額		1 0 , 7 5 4 , 0 0 0 円	
事業計画の内容		全銚子市水産加工業協同組合 川口工場 保税蔵置場の修繕	
評価	成果目標		受入量を指標とし、計画時点の現状値である ■■■ トンを目標とする。
		現状値	(令和 4 年度末) ■■■ トン
		目標値	(令和 4 年度末) ■■■ トン
	(1) 現状値の説明		目標値の ■■■ トンに対し、現状値は■■■ トン（目標値の 65.6%）であり、目標達成には至らなかった。これは、原材料の不足により在庫量が回復していないことによる。
	(2) 地域への経済効果 (ハード事業のみ)		在庫量の回復により、加工業者の業務効率化による経営の安定化が図られた。
	(3) 所見		被災した施設は、傘下の加工業者にとって必要不可欠な冷凍冷蔵倉庫であり、復旧によって水産加工経営の再建が図られた。受入量が目標値を下回った原因は、原材料の不足に伴う在庫量の減少によるものである。
	(4) 評価機関の意見等		
今後の改善方向等に関する分析		原材料は、マサバやマイワシなど主となる魚種の水揚げ状況やその相場、加工品の受注状況等に応じて各加工業者が銚子市漁協等から随時入荷しているが、令和 4 年度はマサバ等の水揚げ量の低下や魚価の高騰が生じ、これにより当該	

	施設への入庫量が減少した。今後、これらの水揚量が回復すれば、入庫量が増加する見込みである。
--	---